

再び舞う大雪

停電にチャッピー日



週末の商店街は文字通り火の消えたような状態となり、暖の必要なハウス栽培農家にも多大の影響を及ぼしました。一月からの異常低温と、再三にわたる降雪での被害は、

農作物だけでも相当にのばるものと思われ、産業振興課の調査（二月二十二日現在）では、ハウスの倒壊八棟をはじめ、名産バナナの発芽障害、越冬トマトを中心とする西瓜・ミツバ・イチゴ等ハウスものの暖房停止や低温による障害、そら豆やブロッコリーなど露地ものの雪かぶりなどがあげられ、その影響は今後さらに大きくなるものと予測されます。

また、今後の対策については、普及所や農協の指導を受け万全を期されるようお願いします。

本線が一日中運休したほか、

農作物だけでも相当にのばるものと思われ、産業振興課の調査（二月二十二日現在）では、ハウスの倒壊八棟をはじめ、名産バナナの発芽障害、越冬トマトを中心とする西瓜・ミツバ・イチゴ等ハウスものの暖房停止や低温による障害、そら豆やブロッコリーなど露地ものの雪かぶりなどがあげられ、その影響は今後さらに大きくなるものと予測されます。

また、この停電で、総武

週末の商店街は文字通り火の消えたような状態となり、暖の必要なハウス栽培農家にも多大の影響を及ぼしました。一月からの異常低温と、再三にわたる降雪での被害は、

一面の銀世界となりました。町では、翌朝から早速に町の建設協会（富田一多会長）の協力を得て、主要道路の除雪作業を行い、通行者の足の確保と安全に努めましたが、各家庭でも休校となつた子供たちを混じえ

飯器、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、自家水道など、文明の利器が働かず、文化生活のモロさをさらけ出しました。

また、この停電で、総武本線が一日中運休したほか、週末の商店街は文字通り火の消えたような状態となり、暖の必要なハウス栽培農家にも多大の影響を及ぼしました。一月からの異常低温と、再三にわたる降雪での被害は、

農作物等に多大の被害

二月十七日の午後から十八日の未明にかけ、前月十九日の大雪を上回る、積雪二十五センチ

前後の大雪が降り、町内は再び一面の銀世界となりました。

汗を流しました。また、この雪の影響で送電線が断線したため、一昼夜近くにわたり停電しました。



酪農部会

表彰

二月十六日、千葉市で行われた千葉県農業研究会常農改善実績発表大会の席上、町農業振興会酪農部会（伊藤潔部会長）が受けました。

一日、次の職員が町から表彰さ

れました。

川嶋 忠

勤続二十五年

川嶋 忠

勤続二十年

川嶋 忠

勤続二十年